

日時 : 2010年3月11日(木) 13:00 ~ 17:00  
場所 : 塗料報知新聞社 会議室  
出席者 : 窪井(久保井塗装工業所)、早川(第一塗装工業)、杉山(アネスト岩田)、  
澤居(桂精機)、島田(旭サナック)  
アドバイザー:坂井(日本工塗連 技術顧問)、  
神田(日本工塗連)、平野(CEMA)  
事務局:有馬(塗料報知新聞社) 9名 敬称略

\*\*\*\*\* 議 題 \*\*\*\*\*

1. 安全対策分科会の報告

第3回 安全対策分科会 議事録参照。

2. 活動情報発信(普及活動)

(1) 2010年2月26日 関西セミナー(大阪塗料会館)の結果

目標参加者数を上回り、また短い時間(2時間)のセミナーであったが内容も充実しており大盛況を確認。

① 参加者:31名(目標20名)

② 関西工塗協関係者より:

山田事務局長や参加頂いた大内田副理事長、花原理事からお礼を頂戴した。

③ 関連団体:

日塗工久米専務理事よりポスターの配布もあり、セミナー開催は注目された。

④ 発表内容

2009年6月18日の第1回セミナー内容に対し、基調講演を含めて3名(平野氏、窪井氏、内山氏)で分担し内容の濃い発表であったと確認した。

(2) その他活動情報発信(普及活動)

① 第一塗装工業の早川氏による『「塗装機器の洗浄方法の見直しによる溶剤使用量の削減」』講演

・2009年10月23日 第10回 CEMAシンポジウム

・行政主催の九州地区で2講演(九州経済産業局主催)

・2009年11月27日(金) JEMAI((社)産業環境管理協会主催)

早川氏のご尽力により4会場にて普及活動が実施された。

② 中部地区

・第2回セミナーの同内容での開催を再確認。

・第1回の内容も加えるなどの意見もあり、幅広いプログラムを予定していく。cf.3.(2)

活動情報発信(普及活動)として、関東3回、関西1回、九州2回と広い地域にて実施できた。

3. 高度化協議会(環境技術分科会)活動の普及

(1) 工場、施設などの見学

① 見学地

・2月25日(木) 杉山氏、内山氏にて独立行政法人 海洋研究開発機構 地球環境シミュレータ(神奈川県)を視察。

杉山氏より視察報告がされ、大いに地球環境の変化や環境負荷低減を進める上で有効な場所であると

判断し見学地に決定した。

## ② スケジュール

- ・見学日 : 4月20日(火)
- ・集合場所/時間 : JR根岸線 新杉田駅 9:30 集合⇒9:45 出発(徒歩)⇒10:00 着
- ・スケジュール : 見学 10:00～11:30(最長 11:30 まで)  
: 昼食 12:00～13:00(新杉田駅にて昼食)  
: 移動 13:00～13:30(横浜駅の神奈川県工塗協事務局のあるビルの会議室)  
: 分科会 13:30～17:00(安全分科会:1時間、環境技術分科会:2.5時間)

## ③ 見学コース

- 1.地球シミュレータ見学(スーパーコンピュータ見学) 30分
- 2.地球シミュレータ成果説明(地球温暖化シミュレーション) 15分
- 3.地球情報館見学(半球スクリーンによる海流・大気汚染・温暖化の研究成果、深海2000調査船の紹介) 30分
- 4.圧力実験(深海の水圧実験) 15分

## ④ 見学者の募集

人数及び名簿を事前に用意する必要があり、下記日程で参加者を決定する。

- ・参加申込み期限 : 3月末まで。メールにて分会長(島田)まで。
- ・見学者リスト : 4月5日までに作成。4月6日に先方へ送付。

- ・早川氏にお願いし神奈川県工塗協の組合員へ募集の案内を行う。
- ・これまで分科会に参加された方(アドバイザー、オブザーバー)へも募集の案内を行う。(島田)

## (2) 次回セミナー検討

### ① テーマ

環境負荷(VOC)とコスト低減の成果発表とした。

- ・テーマ名(案) : 『塗装工程の環境負荷とコスト低減』又は『VOCとコスト削減のPart.2』

### ② 講演内容

現在活動中の内容、前回の継続活動を取上げ協議。

- ・前回の継続活動

講演テーマ	発表内容	課題/目標	協力者
スラッジリサイクル (VOC・コスト)	リサイクルの 経過報告	成型企業の協力(費用面) 成型品の実使用	リサイクル企業(内山氏) 成型企業(有正氏)
ゴミ・ブツ 清掃 (品質・コスト)	不良率削減の 手段と実施例の 報告	大手清掃会社の資料を 塗装業へ落とし込み 実証モデル企業の選定	ゴミ・ブツ資料は電着工程 のもの。小泉氏に協力依 頼。
水性 (VOC)	経過報告	水性塗装の幾つかの実施例要	塗料メーカーの協力(窪井氏)

( )内は発表分類:VOC、コスト、安全、品質、省エネ

・新活動

講演テーマ	発表内容	課題／目標	協力者
塗装工程の安全 (安全)	塗装工程の 安全対策	安全分科会テーマより成果発表 につなげる。	優工社(神尾氏) 厚労省(平野氏)
粉体塗装 (VOC・コスト)	溶剤塗装ブースと の併用事例	モデル工場での実証結果発表	粉体塗装企業(工塗連)
スプレー塗装 (VOC・コスト)	6/18 発表内容の 実証報告	・静電塗装の効果 ・ガンの持ち方や動かし方	都立産業技術研究センター (木下氏)
剥離剤 (省エネ・コスト)	いろいろな使い方 によるコスト削減	マスクジグ、ハンガーなど剥離 作業工程削減の事例	横浜油脂 現場での事例(工塗連)

( )内は発表分類:VOC、コスト、安全、品質、省エネ

③ 活動ポイントと塗装工程

一連の塗装工程における活動ポイントとしてマトリックス表を用意する。

・縦軸にテーマや活動内容

・横軸に塗装工程

	仕入	着荷	脱脂	電着	除電	塗装	乾燥	脱荷	梱包	出荷
VOC										
塗着効率										
ゴミ・ブツ										
省エネ										
安全										

今後テーマをマトリックスに埋めていく。

④ スケジュール

仮スケジュールを立て、実証可能かどうか今後の活動で判断する。

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11
実証		—————▶	—————▶	—————▶	—————▶	—————▶	—————▶	—————▶	
準備						—————▶	—————▶	—————▶	—————▶

(3) 他団体、行政の参加について

・パウダー協、日塗工ほかの団体はテーマに沿い随時案内を当会より発信していく。

・行政関係はオブザーバー的な立場から会に参加する方向で今後進める。

(4) 分科会年間スケジュールと見学会予定の組込み(別紙スケジュール資料)

・スケジュールを組込み、今後の活動日程を定めるとともにセミナー発表時期を検討していく。

4. 分科会活動

① 活動内容と課題

・スラッジ乾燥装置は産廃処理企業の協力待ちより、今後は協力依頼を進めていく。

② 粉体の新しいテーマ始動に向け

新しい取組みのきっかけとして、粉体塗装の部分回収装置を用いて、溶剤ブースでも小規模な粉体塗装を可能にする設備を紹介した。

・設備紹介 <旭サナック製 粉体塗装用部分回収装置> (島田)

<効果>

- ・粉体塗料の回収が可能
- ・ブーススラッジ増加防止(年間の清掃費削減)

この方法を利用してコストやVOC削減の実証を得る方向も分科会活動に取り入れていく。

## 5. 次回予定

### 第21回 環境技術分科会

2010年4月20日(火) 10:00 ~ 12:00 海洋研究開発機構 地球環境シミュレータ 見学会

13:30 ~ 17:00 神奈川県工業塗装協同組合 事務所(4階会議室)

<13:30からは安全対策分科会も同時開催します>

<予定議題>

- ・分科会年間スケジュールの審議
- ・活動テーマに対するモデル工場の選定と依頼者
- ・MMRC 鈴木氏の参加予定(窪井氏)

————— 以 上 —————